

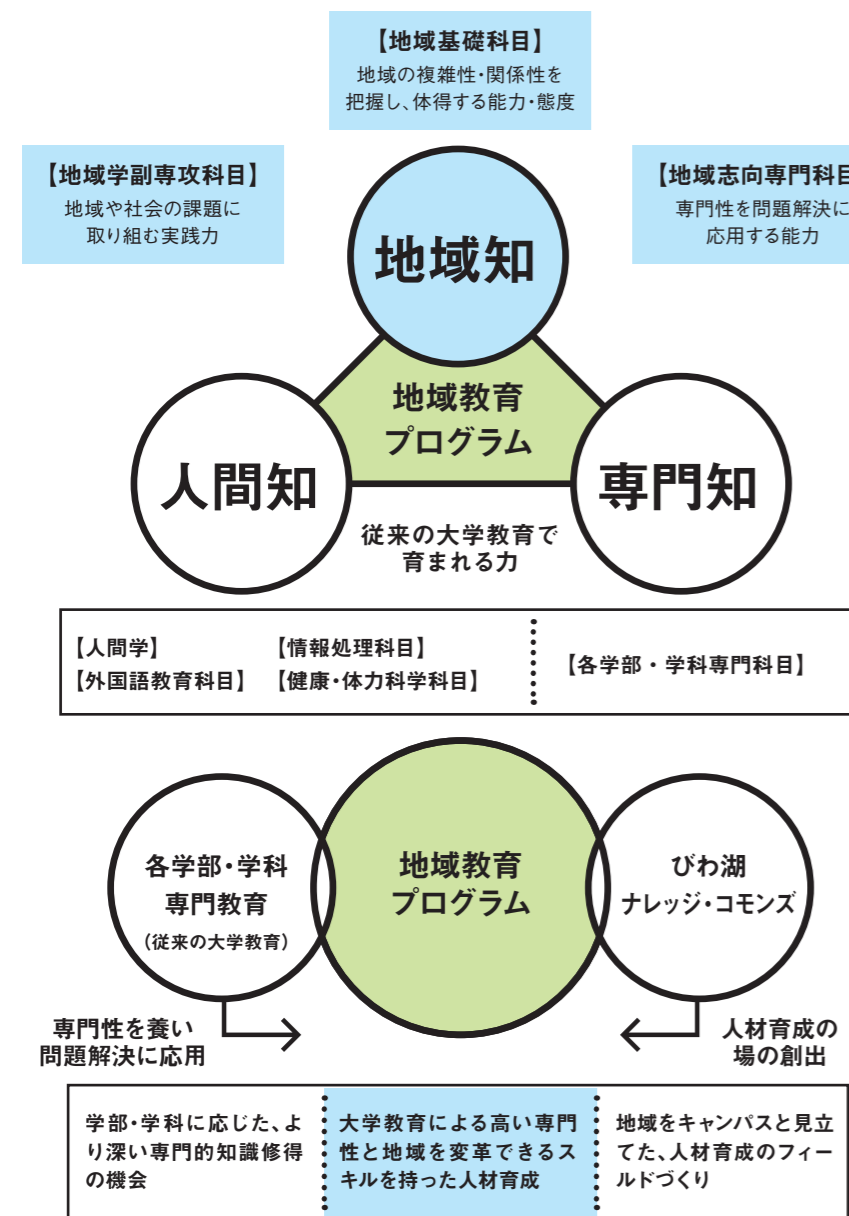
滋賀県立大学の地域教育プログラムってなに？

未来志向の人材育成システムです。

これからの時代に生きる若い世代には、これまでの仕組みの延長線上に自らの能力を磨くだけでなく、変化する時代を生き抜き、持続可能な社会の創造を担う能力と資質を養うことが求められています。

滋賀県立大学では、この課題に応える【未来志向の変革力を身につけた人材】を育成するため、教育カリキュラムを整備・体系化しました。高い専門性を身につけ、俯瞰的に物事を見る能力はもちろんのこと、地域での実践を通して現実に起こっている諸問題に創造的に取り組み、変革する能力と態度を養います。

……………〈地域教育プログラムの位置づけ〉……………



地域には、教室では学べないことが多くあります。「地域教育プログラム」では、大学と地域の様々な主体が連携・協働して、より豊かな学びの機会を提供していきます。地域の現場に飛び込み生きた課題に触れることで、大学で獲得した知識や技術を実践で活かすセンスを養えます。また、地域の人や自然とのつながりを築くための基本的なマナーから、地域を理解し多様な主体を巻き込み、問題解決を実践するための技法も身につけます。これらは変化の激しい社会で一人ひとりが輝くための必須の能力です。

地域と大学の 「共育」がはじまる。

キャンパスは琵琶湖。 テキストは人間。

地と知の共育・
共創自立圏の形成

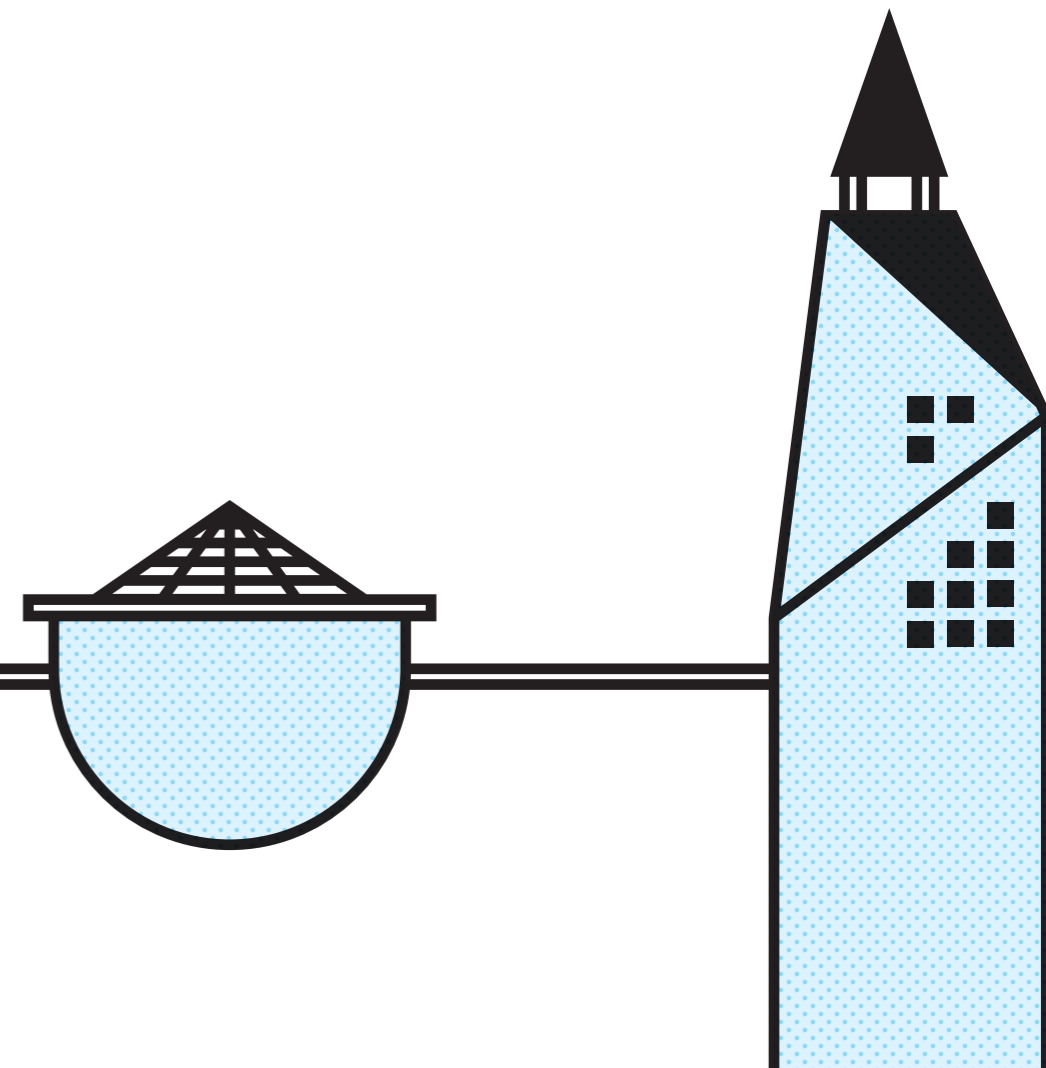
びわ湖 ナレッジ コモンズ



公立大学法人
滋賀県立大学 地域共生センター

〒522-8533 滋賀県彦根市八坂町2500
<https://www.usp.ac.jp/campus/centers/chiikicyosa/>

TEL 0749-28-9851 FAX 0749-28-0220
Mail kyousei@office.usp.ac.jp



身につけるのは、「変革力」

地域や社会の課題に対して、既成概念や常識を打ち破り
新たな価値を創造し未来を開く力「変革力」を
3つの「力」から養います。

01 コミュニケーション力

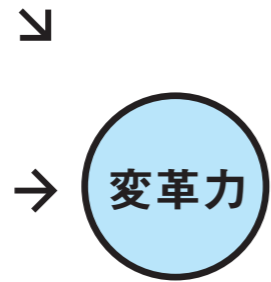
他者を理解し共感し豊かな対話を可能にする力
【自己理解】【他者理解】【地域理解】【積極的な働きかけ】

02 構想力

地域の過去や現状への正しい認識の上に立って、
あるべき未来の姿を描き出す力
【分析力】【総合力(問題発見と課題設定)】【デザイン力(問題解決への情報整理)】

03 実践力

自ら率先して行動し、人を巻き込み、
試行錯誤しながら構想を実現に導く力
【組織の協働・協調】【現場力】【PDCA】【社会との対話力】



変革力醸成のためのステップ

step01

地域基礎科目

地域を理解し、課題を解決するための基礎的な力を養います。

近江楽座

step02

地域志向 専門科目

それぞれの学生の専攻に沿った専門分野と地域教育を関連付けて学びを得ます。

近江楽士 (地域学) 副専攻

全学・全学科対象の未来志向の学びプログラム。社会に必要な「ネットワーク力・起業力」を養います。

学生が主体となって地域貢献活動を運営し、地域の方々と一緒に活動することにより、学内だけでは学べない実践的な学びと経験を得られます。

中期インターンシップ

地域企業への理解を深め、地元企業との実りある出会いにつなげる機会
(15日以上の就業体験)

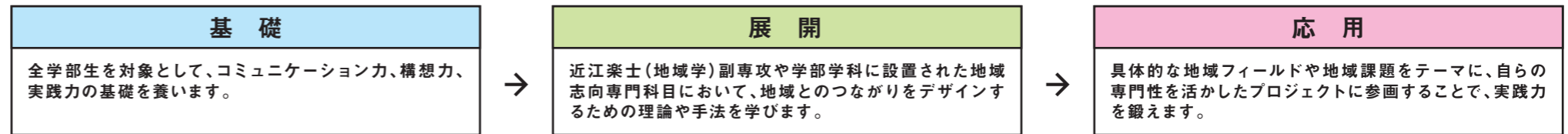
卒業研究

step03

近江環人 地域再生学座

近江楽士(地域学)副専攻の上位カリキュラム。県立大学大学院生だけでなく、行政、企業、NPOなどそれぞれの立場で地域再生のリーダーとなる資質を有した人材として「コミュニティ・アーキテクト(近江環人)」を育成し、地域のニーズに応えることを目的としています。

地域教育プログラムのカリキュラムマップ



学習・教育目標	コース別	授業科目名											
		1年			2年			3年			4年		
		前期	地域活動 実践ターム(※1)	後期	前期	地域活動 実践ターム	後期	前期	地域活動 実践ターム	後期	前期	地域活動 実践ターム	後期
卒業論文・制作													各学部各学科での卒業論文・卒業制作
インターンシップ					キャリアアップC			インターンシップE					
応用	地域学副専攻	コース共通											
展開	地域志向専門科目	地域デザインA、B、C、D(※2)											
		地域志向専門科目 (各学部各学科の専門科目であり、副専攻要件には含まれません)											
	地域学副専攻	ソーシャル・アントレプレナー(SEコース)		ソーシャル・ビジネス概論(SEコース必修)	MBA入門		ビジネス・プランニング						
		コミュニティ・ネットワーク(CNコース)		地域診断法(CNコース必修)	システム思考法		問題解決デザイン論						
		地域基礎科目(兼副専攻必修)		ソーシャル・ビジネス概論 地域診断法									
	基礎	地域基礎科目		地域コミュニケーション論									
		地域課題科目(群)											
		地域共生論											

※1:地域活動実践タームとは全学的に地域活動の実践を促進する特定期間をいいます。具体的には、学年暦を参照してください。

※2:地域デザインA、B、C、Dでは、地域課題に対応して、フィールドワークやワークショップを取り入れたPBL(Problem Based Learning)型の授業とするため、開講日時や形態については、受講者と教員が相談の上で決定します。

副専攻
修了者
称号授与

近江楽士

コミュニティ・ネットワーク
ソーシャル・アントレプレナー

地域基礎科目

地域志向専門科目

地域基礎科目は「地域教育プログラム」の基礎となる科目群です。全学共通科目ですので、すべての学部生が履修します。

必修科目 1科目2単位
選択必修科目 1科目2単位以上
合計 2科目4単位以上

必修科目：1科目2単位

科目名称	配当年次	単位数	備考
地域共生論	1前	2	

選択必修科目：1科目2単位以上

科目名称	配当年次	単位数	備考
地域コミュニケーション論	1・後	2	地域活動実践ターム(冬季集中)に実施
地域診断法	1・後	2	副専攻(CN必修)
ソーシャル・ビジネス概論	1・後	2	副専攻(SE必修)
地域社会福祉論	1・後	2	人間看護学科は必修で2年次後期に配当
地域づくり人材論	1・後	2	
びわこ環境行政論	1,2,3,4・後	2	
多文化共生論	1・前	2	隔年開講(奇数年開講)
地域産業・企業から学ぶ社長講義	1・後	2	
SDGsと滋賀のグローバル・イノベーション	1・前	2	
近江の美	1・前	2	隔年開講(偶数年開講)

選択科目

地域志向専門科目は、各学部学科の中での地域志向の科目です。副専攻の修了要件ではありませんが、地域教育の一環として積極的に履修することを推奨します。詳細は各学部のシラバスを参照して下さい。

本学におけるアクティブ・ラーニングの特徴

様々な分野の教員と先輩、そして学生の育ちを応援してくれる地域のサポーターが連携して学びの場を提供します。多くの地域の人々を教室に招き、また逆に地域に向かい、生の地域課題や地域の魅力に触れ、対話やグループワーク、ワークショップや活動への参加など、アタマとカラダとココロの全部を動かす「アクティブ・ラーニング」によって、生きた知と実践力を身に付けていきます。特に、地域の人々と浴びるほどコミュニケーションできる時間として、休業期間中の特定期間を「地域活動実践ターム」として位置づけ、全学的に地域活動の実践を推奨しています。

地域のサポーターが学びを支援



地域人とのダイアログワークショップ



地域人とともにつむぎだす成果報告



フィールドワークの実践



演習授業から発展した課外活動